

川崎市建築物環境配慮制度受付番号 20031

建築物名称	ソルティア武蔵小杉新築工事
建築主	株式会社マリモ 代表取締役 深川 真
建築物の所在地	川崎市中原区市ノ坪字中村通158番1
設計者氏名、建築士事務所名	沖塩 茂雄 (有)OKI建築事務所 一級建築士事務所
工事種別	新築
床面積の合計	2,937.03m ²
用途	共同住宅
構造	鉄筋コンクリート造
階数	地上7階
工事完了年月	令和4年6月
自然エネルギーの利用 (利用を検討した自然エネルギーの種類)	太陽光発電、太陽熱利用、燃料系潜熱回収瞬間式給湯器
自然エネルギーの利用 (利用を決めた自然エネルギーの種類)	燃料系潜熱回収瞬間式給湯器

CASBEE川崎

■使用評価マニュアル：CASBEE-川崎2017年版

使用評価ソフト：CASBEE-川崎2017(v.3.1)

評価結果

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	ソルティア武蔵小杉新築工事	階数	地上7F
建設地	川崎市中原区市ノ坪字中村通158番1	構造	RC造
用途地域	準工業地域、準防火地域、防火地域	平均居住人員	192人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	
竣工年	2022年6月 竣工	評価の実施日	2020年11月6日
敷地面積	918㎡	作成者	(有)OKI建築事務所
建築面積	506㎡	確認日	2020年11月6日
延床面積	2,937㎡	確認者	(有)OKI建築事務所

外観パース等
パースの公表を希望される場合は
図を貼り付けてください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (92 kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み 87% (46 kg-CO₂/年・m²)

③上記+②以外の 87%

④上記+ 87%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 **Qのスコア = 2.9**

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.3

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.8

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.7

LR 環境負荷低減性 **LRのスコア = 3.0**

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.1

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.8

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

重点項目についての環境配慮概要		実績重点項目スコア 合計/ 重点項目最高点のスコア合計	重点項目への 貢献点注) (5点満点)
内訳対応項目	各項目について配慮した内容を記述してください。		
緑の保全・回復(G)		Gの平均点	2.8
Q-3 ■ 室外環境(敷地内)対策			
1 生物環境の保全と創出			
2 まちなみ・景観への配慮		2.3/4.3	2.6
3 3.2 敷地内温熱環境の向上			
LR-3 ■ 敷地外環境対策			
2 2.2 温熱環境悪化の改善		0.5/0.8	3.0
地球温暖化防止対策の推進(W)		Wの平均点	3.0
Q-1 ■ 室内環境対策			
2 2.1 2.1.2 外皮性能	住宅性能評価基準の断熱性能等級4の性能		
3 3.1 3.1.3 昼光利用設備		2.4/3.1	3.9
3.2 3.2.1 昼光制御	住宅部分は、カーテンと庇で制御		
Q-3 ■ 室外環境(敷地内)対策			
1 生物環境の保全と創出			
3 3.2 敷地内温熱環境の向上		1.1/2.3	2.3
LR-1 ■ エネルギー対策			
1 建物外皮の熱負荷抑制	住宅性能評価基準の断熱性能等級4の性能		
2 自然エネルギーの利用		3.1/5.0	3.1
3 設備システムの高効率化	BEI=1.00		
4 効率的運用			
LR-2 ■ 資源・マテリアル対策			
1 水資源保護			
2 非再生性資源の使用量削減		2.7/4.7	2.9
3 3.2 フロン・ハロンの回避			
LR-3 ■ 敷地外環境対策			
2 2.2 温熱環境悪化の改善		0.5/0.8	3.0
資源の有効利用による循環型地域社会の形成(R)		Rの平均点	3.1
Q-2 ■ サービス性能対策			
2 2.2 部品・部材の耐用年数	住宅の品質確保の法律による劣化対策等級3を取得予定	0.3/0.5	3.2
LR-2 ■ 資源・マテリアル対策			
1 水資源保護			
2 非再生性資源の使用量削減	下地をLGS工法とし、容易に分別可能	2.3/4.0	2.9
LR-3 ■ 敷地外環境対策			
2 2.3 地域インフラへの負荷抑制		0.2/0.4	3.0
ヒートアイランド現象の緩和(H)		Hの平均点	2.8
Q-3 ■ 室外環境(敷地内)対策			
1 生物環境の保全と創出			
3 3.2 敷地内温熱環境の向上		1.1/2.3	2.3
LR-1 ■ エネルギー対策			
1 建物外皮の熱負荷抑制	住宅性能評価基準の断熱性能等級4の性能		
2 自然エネルギーの利用		3.1/5.0	3.1
3 設備システムの高効率化	BEI=1.00		
4 効率的運用			
LR-3 ■ 敷地外環境対策			
2 2.2 温熱環境悪化の改善		0.5/0.8	3.0

注)重点項目に該当する評価項目の得点(重み係数付)を集計し、当該項目の最高点の合計に対する貢献度を示した点数。

重点項目への貢献点の平均点 **2.9**

ライフサイクルCO2評価対象項目についての環境配慮概要		実績スコア合計/ 最高点のスコア合計	ライフサイクル CO2評価対象 項目への 貢献点注) (5点満点)
内訳対応項目	各項目について配慮した内容を記述してください。		
建設段階			
Q-2 ■ サービス性能対策			
2 2.2 2.2.1 躯体材料の耐用年数	住宅の品質確保の法律による劣化対策等級3を取得予定	0.1/0.1	5.0
修繕・更新・解体段階			
LR-2 ■ 資源・マテリアル対策			
2 2.2 既存建築躯体等の継続利用			
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		0.7/1.2	3.0
運用時のエネルギー			
LR-1 ■ エネルギー対策			
1 建物外皮の熱負荷抑制	住宅性能評価基準の断熱性能等級4の性能		
2 自然エネルギーの利用		3.1/5.0	3.1
3 設備システムの高効率化	BEI=0.85		
4 効率的運用			

注)ライフサイクルCO2評価対象項目に該当する評価項目の得点(重み係数付)を集計し、当該項目の最高点の合計に対する貢献度を示した点数。

スコアシート		重点項目				環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	G	W	R	H	評価点		重み係数	評価点	重み係数		
Q 建築物の環境品質										2.9	
Q1 室内環境							0.40		-	3.3	
1 音環境						-	0.15	3.3	1.00	3.3	
1.1 室内騒音レベル						-	-	3.0	0.50		
1.2 遮音						-	-	3.6	0.50		
1 開口部遮音性能					T-2の遮音性能を有するサッシを使用	-	-	5.0	0.30		
2 界壁遮音性能						-	-	3.0	0.30		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)						-	-	3.0	0.20		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)						-	-	3.0	0.20		
1.3 吸音						-	-	3.0	-		
2 温熱環境						-	0.35	3.1	1.00	3.1	
2.1 室温制御						-	-	3.3	0.50		
1 室温						-	-	3.0	0.63		
2 外皮性能		W			住宅性能評価基準の断熱性能等級4の性能	-	-	4.0	0.38		
3 ゾーン別制御性						-	-	-	-		
2.2 湿度制御						-	-	3.0	0.20		
2.3 空調方式						-	-	3.0	0.30		
3 光・視環境						-	0.25	3.2	1.00	3.2	
3.1 昼光利用						-	-	2.4	0.50		
1 昼光率						-	-	3.0	0.50		
2 方位別開口						-	-	1.0	0.30		
3 昼光利用設備		W				-	-	3.0	0.20		
3.2 グレア対策						-	-	4.0	0.50		
1 昼光制御		W			住宅部分は、カーテンと庇で制御	-	-	4.0	1.00		
3.3 照度						-	-	-	-		
3.4 照明制御						-	-	-	-		
4 空気質環境						-	0.25	3.6	1.00	3.6	
4.1 発生源対策						-	-	4.0	0.63		
1 化学汚染物質					使用建材はすべてF☆☆☆☆を使用	-	-	4.0	1.00		
4.2 換気						-	-	3.0	0.38		
1 換気量						-	-	3.0	0.33		
2 自然換気性能						-	-	3.0	0.33		
3 取り入れ外気への配慮						-	-	3.0	0.33		
4.3 運用管理						-	-	-	-		
1 CO ₂ の監視						-	-	-	-		
2 喫煙の制御						3.0	-	-	-		

Q2 サービス性能					0.30	-	-	2.8	
1 機能性					3.0	0.40	2.6	1.00	2.6
1.1 機能性・使いやすさ					3.0	0.57	3.0	0.60	
1	広さ・収納性						3.0	-	
2	高度情報通信設備対応						3.0	1.00	
3	バリアフリー計画				3.0	1.00		-	
1.2 心理性・快適性					-	-	2.0	0.40	
1	広さ感・景観						3.0	0.50	
2	リフレッシュスペース							-	
3	内装計画				-	-	1.0	0.50	
1.3 維持管理					3.0	0.43		-	
1	維持管理に配慮した設計				3.0	0.50		-	
2	維持管理用機能の確保				3.0	0.50		-	
2 耐用性・信頼性					3.0	0.30		-	3.0
2.1 耐震・免震・制震・制振					3.0	0.50		-	
1	耐震性(建物のこわれにくさ)				3.0	0.80		-	
2	免震・制震・制振性能				3.0	0.20		-	
2.2 部品・部材の耐用年数					3.2	0.30		-	
1	躯体材料の耐用年数	R			5.0	0.20		-	
2	外壁仕上げ材の補修必要間隔	R			2.0	0.20		-	
3	主要内装仕上げ材の更新必要間隔	R			3.0	0.10		-	
4	空調換気ダクトの更新必要間隔	R			3.0	0.10		-	
5	空調・給排水配管の更新必要間隔	R			3.0	0.20		-	
6	主要設備機器の更新必要間隔	R			3.0	0.20		-	
2.4 信頼性					3.0	0.20		-	
1	空調・換気設備				3.0	0.20		-	
2	給排水・衛生設備				3.0	0.20		-	
3	電気設備				3.0	0.20		-	
4	機械・配管支持方法				3.0	0.20		-	
5	通信・情報設備				3.0	0.20		-	
3 対応性・更新性					3.0	0.30	2.7	1.00	2.7
3.1 空間のゆとり							2.4	0.50	
1	階高のゆとり				3.0	-	2.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ				3.0	-	3.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり							3.0	0.50	
3.3 設備の更新性					3.0	1.00		-	
1	空調配管の更新性				3.0	0.20		-	
2	給排水管の更新性				3.0	0.20		-	
3	電気配線の更新性				3.0	0.10		-	
4	通信配線の更新性				3.0	0.10		-	
5	設備機器の更新性				3.0	0.20		-	
6	バックアップスペースの確保				3.0	0.20		-	
Q3 室外環境(敷地内)						0.30	-	-	2.7
1 生物環境の保全と創出				G	W				2.0
2 まちなみ・景観への配慮				G					3.0
3 地域性・アメニティへの配慮									3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上									
3.2 敷地内温熱環境の向上				G	W				3.0

LR 建築物の環境負荷低減性											3.0
LR1 エネルギー											3.1
1 建物外皮の熱負荷抑制			W		H	住宅性能評価基準の断熱性能等級4の性能		4.0	0.20		4.0
2 自然エネルギー利用			W		H			2.0	0.10		2.0
3 設備システムの高効率化			W		H	[BE][BEIm] = 1.00		3.0	0.50		3.0
4 効率的運用								3.0	0.20		3.0
集合住宅以外の評価											
4.1 モニタリング			W		H			3.0			
4.2 運用管理体制			W		H			3.0			
集合住宅の評価								3.0	1.00		
4.1 モニタリング			W		H			3.0	0.50		
4.2 運用管理体制			W		H			3.0	0.50		
LR2 資源・マテリアル											2.8
1 水資源保護			W		R			3.0	0.20		3.0
1.1 節水								3.0	0.40		
1.2 雨水利用・雑排水等の利用								3.0	0.60		
1 雨水利用システム導入の有無								3.0	1.00		
2 雑排水等利用システム導入の有無								3.0			
2 非再生性資源の使用量削減								2.8	0.60		2.8
2.1 材料使用量の削減			W		R			2.0	0.10		
2.2 既存建築躯体等の継続使用			W		R			3.0	0.20		
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			W		R	-		3.0	0.20		
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			W		R	-		1.0	0.20		
2.5 持続可能な森林から産出された木材			W		R			2.0	0.10		
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			W		R	下地をLGS工法とし、容易に分別可能		5.0	0.20		
3 汚染物質含有材料の使用回避								3.0	0.20		3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用								3.0	0.30		
3.2 フロン・ハロンの回避								3.0	0.70		
1 消火剤			W					-			
2 発泡剤(断熱材等)			W					3.0	0.50		
3 冷媒			W					3.0	0.50		
LR3 敷地外環境											3.1
1 地球温暖化への配慮			W			ライフサイクルCO2排出率が標準的な建物と比べて87%		3.5	0.33		3.5
2 地域環境への配慮								2.9	0.33		2.9
2.1 大気汚染防止								3.0	0.25		
2.2 温熱環境悪化の改善			G	W	H			3.0	0.50		
2.3 地域インフラへの負荷抑制								2.7	0.25		
1 雨水排水負荷低減					R			3.0	0.25		
2 汚水処理負荷抑制					R			3.0	0.25		
3 交通負荷抑制					R			2.0	0.25		
4 廃棄物処理負荷抑制					R			3.0	0.25		
3 周辺環境への配慮								3.0	0.33		3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止								3.0	0.40		
1 騒音								3.0	1.00		
2 振動								-			
3 悪臭								-			
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制								3.0	0.40		
1 風害の抑制								3.0	0.70		
2 砂塵の抑制								3.0			
3 日照障害の抑制								3.0	0.30		
3.3 光害の抑制								3.0	0.20		
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策								3.0	0.70		
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策								3.0	0.30		

20031

ソルティア武蔵小杉新築工事

このマンションは分譲住宅環境性能表示の届出を行っています。

建築主は分譲共同住宅環境性能表示を販売広告に掲載した日から15日以内に届け出る
ことになっており、これにより公表しています。



この表示は川崎市の定めた基準に従って、建築主が自らの計画を評価した内容に
基づいています。